

# 支援センター みらい

## 平成22年度上半期事業報告

支援センターみらいは相談支援事業を中心に地域生活支援の観点から支援対象者（障害当事者、ご家族、関係者）や地域等、個々のニーズを受け止め安全で安心して暮らすことができるような障害福祉サービスの提供や新たなサービスの提案や提供ができる拠点事業所として準備を進めてきた。地域生活支援事業の一環として、設置運営しているケアホーム（2箇所）の安定運営に加え事業計画の一つであった第3・第4のケアホーム（内一つは女性ホーム）の開設も年度当初4月と6月にそれぞれ開所することができた。

また、二つ目の事業計画である支援センターみらいが地域生活を支える拠点施設として、今年度下半期から事業所を独立させるための準備を進めているが、大阪府との幾度かの事前協議で改装に係る建築基準法や福祉の街づくり条例等の遵守事項で指摘を受け工事着工に取り掛かれない状況にある。現在、前述の条例に沿った設計図面を作成中である。

図面が完成次第、入札→工事着工と進める。

支援センターみらいが重点事業として、掲げている相談、生活（居住支援、居宅支援）就労（就労移行支援事業）の三本柱を総合的に事業展開が行えるようセンターの移転、既に指定を受けている相談支援事業に加えヘルパーステーションや就労移行支援事業の指定、認可に向けて取り組んでいる。

### 1. 事業所の運営

- (1) 所在地 大阪府豊中市勝部2-19-3 授産施設みらい内
- (2) 職員 管理者（1（兼務））・サービス管理責任者（1（兼務））  
生活支援ワーカー（1）・就労支援ワーカー（2（1名は兼務））  
生活支援員（5）・世話人（3（1名欠員））  
事務員（1（兼務））
- (3) その他 大阪府指定相談事業所（平成20年7月1日指定）  
事業所指定番号 2734000041  
共同生活介護・援助事業所 栗ヶ丘ホーム  
事業所指定番号 2724000035  
栗ヶ丘ホーム、末広ホーム、若竹ホーム、  
桜塚ホーム「1」、桜塚ホーム「2」

### 事業の柱

- 1. 相談支援事業
- 2. 地域生活に関する支援事業

### 3. 就労に関する支援事業

上記事業を下記のとおり遂行してきた。

#### 【事業所運営と業務内容】

##### 1. 相談窓口の設置（現在、授産施設みらい内で実施）

平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 10 月 30 日現在

開所日数 145 日、相談件数 117 件、相談述べ人数 289 名

##### ◎相談内訳

電話 58 件、訪問 32 件、外来 16 件、同行 1 件、メール 1 件、その他 4 件

##### ◎対象者

本人 39 名、 家族 113 名、 その他 149 名

##### ◎相談内容

生活 81 件、 就労 3 件、 年金 11 件、 健康 6 件、 その他 16 件

##### 2. 共同生活介護、共同生活援助事業所の設置運営

栗ヶ丘ホーム 4 名定員、末広ホーム 5 名定員、若竹ホーム（4 名定員）、桜塚ホーム「1」桜塚ホーム「2」（各々 3 名定員）の設置運営

平成 22 年 9 月末現在、5 ホーム 18 名（欠員 1 名）の方が五つのホームで生活をしているが、このホーム利用者が安全で安心して生活ができるよう、バックアップ事業所（支援センターみらい）を含め関係機関と連携を図りながら生活支援に取り組んでいる。

##### 3. ヘルパーステーションの設置・運営（居宅介護・重度訪問介護・移動支援）

22 年度下半期からの実施に向けて準備を進めているが、前段で記述した通り、大阪府福祉の街づくり条例の建築基準に沿った図面の見直しで遅延している状況にある。

##### 4. 障害者自立支援法に基づく就労移行事業所の併設（定員 20 名）

今年度の事業計画では、就労移行支援事業の併設に向けての検討と事前調査としていたが、支援センターみらいの安定運営を考えたときに早期に事業を移行させる事が望ましい事から、今年度中に事業移行を進めることとした。二度に亘る大阪府との事前協議で建物の改装が完了次第最終の指定のための申請作業に入る予定にしている。

定員について年度当初の事業計画では 18 名であったが、授産施設みらいから独立させることにより定員を 20 名にする必要がでたため 2 名の定員増として準備を進めていきたい。

## 栗ヶ丘ホーム（各ホーム共通）

### 平成22年度上半期中間事業報告（案）

#### 1. 事業所の運営（共通）

- (1) 所在地 大阪府豊中市上野東一丁目2番2号
- (2) 定員 19名
- (3) 職員 管理者（兼務）サービス管理責任者、生活支援員、世話人)
- (4) 事業開始年月日 平成18年10月1日  
事業所指定番号 2724000035（共同生活介護）  
2724000035（共同生活援助）
- (5) 事業所の名称及び定員（内訳）
  - ①栗ヶ丘ホーム 定員4名（男性3名、女性1名）
  - ②末広ホーム 定員5名（男性5名）
  - ③若竹ホーム 定員4名（女性3名）4月開所
  - ④桜塚ホーム 定員3名（男性3名）6月開所
  - ⑤桜塚ホーム 定員3名（男性3名）

支援センター「みらい」のバックアップを受け安定した福祉サービスの提供に務める。各ホーム利用者の特性を尊重し、個々の主体性と自主性を基本に各ホームのニーズを的確に受け止めそれぞれ合った支援に努めてきた。

当法人として予ねてより懸案であった365日支援が可能な女性ホームとして平成22年4月、若竹町に若竹ホーム（定員4名）で開所、続いて6月には中桜塚で男性ホーム桜塚ホーム1、2（それぞれ定員3名）を開所することができた。

又、消防法の改定による諸設備の設置については、所轄と相談・連携を図り必要なホームから随時助成金を活用し設備の整備を進めるとともにホーム利用者の命の安全に努めてきた。

生活面においては、ホーム利用者の加齢に伴う、健康面や移動面に配慮を行い生活スキルアップ、余暇支援の充実を図っている。食生活の観点から生活習慣病予防に繋がる食事や季節感が楽しめる食事の提供等、体力面ではホーム帰宅後の散歩や買い物を取り入れるなど歩く事を通して健康の維持管理に努めてきた。

#### 2. 職員の職務内容（共通）

支援体制として、管理者、サービス管理責任者、世話人、生活支援員の職員配置を行いそれぞれの業務を明確にし、それぞれの業務の見直しを図り利用者にとって暮らしやすい衣食

住の環境を整えて支援の充実を図ってきた。

### 3. 支援の内容及び目標（共通）

#### （1）生活・余暇の支援

基本的な生活習慣を維持するよう声掛けを行う。また、自らの身辺処理が難しい場合には援助を行い、そのスキルを体得できるよう支援を行っている。

食生活面では、特に生活習慣病等、栄養バランスに十分配慮しつつ季節感のある食事の提供に努めてきた。

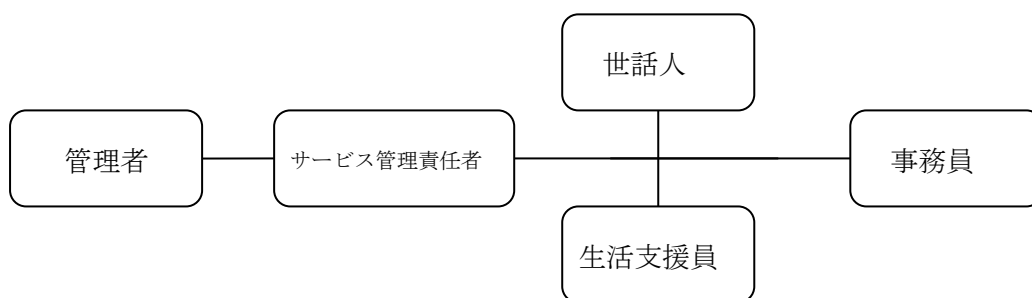
余暇支援では、個別支援計画に基づき、関係機関と連携を図り生活がマンネリ化しないよう取り組んできた。

#### （2）危機管理支援（共通）

命の尊さを何よりも大切に考え、支援者には研修や講習会に積極的に参加を促している。

また同種の事業者やバックアップ施設、近隣住民、警察、消防、病院など公共機関とも連携を図り有事の危機回避の支援体制に努めている。

#### （3）人的支援体制表（共通）



#### （4）組織体制

